

## 1 中期学校経営方針

### (1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○様々な教育活動を通して、自他を大切にし、互いを認め合い、高め合おうとする心情や態度を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。</li> <li>・一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活を送れるようにします。</li> <li>・自分の心や体の健康に関心をもち、よりよい生活習慣を心がけ、進んで身体を動かせるようにします。</li> <li>・教育活動の充実と、安心・安全な学校生活のため、保護者や地域・中学校ブロック間の連携を強め、信頼される学校づくりを目指します。</li> </ul>

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		①児童の実態をもとに、教科書や道徳教材を計画的に活用し、道徳性を養う。 ②学校や地域での様々な場面を通して、気持ちのよいあいさつができるよう、年間を通してあいさつの大切さを伝え、思いやりをもって人と進んで関わる児童の育成を図る。 ③異学年交流や様々な行事などの体験活動を通して、自他の違いやよさに気づき、自己肯定感や自己有用感を育む。
担当	道徳部	

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

穏やかで落ち着いた児童が多く、友達にも優しくすることができている。また、一人ひとりが学校生活を楽しみ、充実した学校生活を過ごすことができている。主体的に自分の考えをもち、積極的に行動するという点において課題が見られるが、様々な行事や取組を通して主体的な姿が見られるようにしたい。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】 道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

- ・道徳科の学習では、児童の実態を的確に把握し、教科書や道徳的教材を活用し、しっかりと価値を理解することができるよう発問構成を工夫する。さらに、理解した価値をもとに、自己を見つめ、相手の気持ちに共感しながら語り合う授業をめざす。
- ・保護者・地域の方と連携し、ともに子どもたちの道徳性を養うために、道徳科の学習を授業参観で公開する。

【項目 自分づくり教育（キャリア教育）】 様々な体験活動を通じた自分づくり教育

- ・年間を通してケヤパ活動（たてわり活動）や挨拶運動を位置づけ、異年齢でのつながりやふれあいを大切にし、学校全体の仲間意識を高める。
- ・様々な行事や体験活動を通して、自他の違いやよさに気づき、自分の役割をもつとともに「自分も周りの人も大切にできる」心を育む。

### 3 令和5年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	興味をもって取り組もうとする 【好奇心・観察力】 友達と関わる【協力】 ルールやマナーを守る	○体験的な活動や学習を大切にし、自分の考えをもったり伝えたりすることができるように授業展開を工夫する。 ○自分の考えや思いを言葉で伝えることができるように話型を提示し、安心して表現できるようにする。	○体験的な活動や学習を大切にし、自分の考えをもったり伝えたりすることができるように授業展開を工夫する。 ○自分の考えや思いを分かりやすく伝えるために、順序やまとまりを工夫して表現できるようにする。
2年	【基本的な生活習慣】 あいさつがしっかりとできる【地域】 自分の考えをもち、伝える【主体性】	○体験的な活動を通した学びを大切にし、自分の感じたことや思ったことを相手に伝えるように、事柄の順序を考えて話したり書いたりできるような授業展開の工夫をする。 ○2～3人の小グループでの活動を意図的に取り入れ、自分の考えを伝えるよさを味わえるようにする。	○体験的な活動を通した学びを大切にし、相手の伝えたい大事なことを落とさないように聞き、質問したり感想を述べたりできるような授業展開の工夫をする。 ○2～3人の小グループでの活動を続けることで、友達と学び合うよさに気づくようにする。
3年	友達と力を一つにし、課題を解決する【協働的】 自分で考え、判断し、表現する【自分らしさ】 積極的に関わろうとする【積極性】 自ら問いを見出し、解決する【課題対応】 多様性を認める【他者理解】	○体験的な活動を通して、自らの課題を見出し、意欲的に学習に取り組めるようにする。 ○ペアやグループでの活動を意図的に取り入れ、自分の意見をもつとともに、友達の意見も聞きながら力を合わせて課題解決できるようにする。	○体験的な活動を通して分かったことや考えたことを自分らしく表現し、友達と伝え合う活動を大切にする。 ○友達の意見との共通点や相違点を比べることで、自分の考えを深めることができるようにする。
4年	話を聴いて、生かそうとする【考えの深化】 親や周りの人々への感謝の気持ちをもつ【つながり】 役割・責任を果たす【リーダー性】	○体験的な活動を通して、実感を伴う中で自ら課題を見出し、意欲的に学習に取り組めるようにする。 ○分かったことや考えたことを、筋道立てて説明する文章を書いたり、大事なことを落とさず伝え合ったりして、表現活動を大切にする。	○互いの考えや物事についての共通点や相違点を比べて、見方を広げる学習を意図的に位置づける。 ○様々な学習活動を通して、自分たちを支えてくれる人の存在に気づき、そこにある思いを理解していけるようにする。また、感謝の気持ちを伝えていく方法を考えたり実行したりする。
5年	役割・責任を果たす【リーダー性】 取捨選択する【情報活用・選択】 自他のよさを認める【自己肯定感・他者理解】 先を見通し、判断する【生活に生かす】 根拠をもって、論理的に判断する【意思決定】	○体験的な活動を通して、自ら課題を見出し、先の見通しをもって意欲的に学習に取り組めるようにする。 ○自分の意見をしっかり持って話し合い活動に参加し、意図に応じて互いの考えを比較し、共通点や相違点を整理する。	○友達と伝え合う表現活動を大切にし、自他のよさを認め合う。 ○話し合い活動を通して、互いの考えを比較して共通点や相違点を整理し、共感した内容を取り出し自分の考えをまとめる。
6年	コミュニケーション能力【協調性】 まちの一員として考え、参加する【地域貢献・社会参画】	○大事なことを落とさず聞いたり、伝え合ったりして、表現活動を大切にし、自他のよさを認め合う。 ○自分の意見をしっかりともち、友達の意見と比較・検討することによって、考えを広げたり深めたりする。	○学習を通して、多面的に捉え、よりよいものを求めて粘り強く考える態度、学習したことを生活に活用しようとする態度を育む。 ○様々な活動を通して、多様性を尊重する態度を養い、互いのよさを活かして協働的に行動する力をつける。
個別支援学級	ルールやマナーを守る【基本的な生活習慣】 あいさつがしっかりとできる【地域】 自分の考えをもち、伝える【主体性】 積極的に関わろうとする【積極性】	○生活習慣を身に付けるために、一人ひとりの実態に合わせた活動内容を取り入れていく。 ○学習の中で、同じ活動を繰り返し行うことで安心して取り組めるようにする。また、それぞれの興味・関心を大切に、そこから広げた具体的・体験的な学習内容を考えていく。 ○個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、発達段階に応じて、各学年の取組を参考にし、必要な取組を行う。	○状況に応じて、今までの経験を生かしながら、自分の生活に役立てることができる活動を取り入れていく。 ○学習の中で、感じたことや考えたことを教師や友達と共有し、意欲的に取り組もうとする環境づくり、授業づくりをしていく。 ○個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、発達段階に応じて、各学年の取組を参考にし、必要な取組を行う。